



学校だより 10月号

雀鳥 つ子

令和7年10月1日(水)

内灘町立鶴ヶ丘小学校

校訓 強く 正しく すこやかに

あたまがよくなる方法

校長 堀井 洋一

二学期の初めには夏の暑さが残っていましたが、このところは登校時間に玄関に立っていると涼しい風を感じるようになりました。過ごしやすい季節になりました。

さて、学校では9月下旬から本格的に運動会練習が始まっています。9月号でもお知らせしたように今年度も子どもたちの「心のつながり」をテーマにした運動会になります。今年度は開会式（オープニングセレモニー）で異学年グループでの入場行進を行います。また、表現（団体演技）を復活し、オープニングセレモニーの中で低・中・高別に演技を行います。

運動会練習を通して「協力する心」「相手を思いやる心」を育んでいきたいと考えています。例年通り、練習期間にあわせて学校公開を実施しています。運動会当日に限らず練習期間にも保護者の皆様の参観をお待ちしております。一生懸命練習に取り組んでいる様子を是非ご覧ください。（練習の様子は学校ホームページにも掲載しています。）

さて、10月の全校集会では、子どもたちにあたまがよくなる方法について話をしました。いわゆる「学校の勉強がわかる」「テストの点数がよくなる」方法ではなく、「発想力」「コミュニケーション力」「自己解決（判断）力」を身につけるための話です。

「読み・書き・計算」など基礎学力や、読解力や資料分析力などの応用力はもちろん大切ですが、子どもたちが10年後、20年後に社会で活躍したり、自己実現を遂げたりするためには「自分で物事を創造すること・考えること」「他者と上手に（バランスよく）かかわること」「課題解決にむけて熟考し判断すること」は不可欠だと思います。

調べてみると（いろいろな説はありました）あたまがよくなるには「バランスのよい食事」「運動」「会話」「睡眠」「チャレンジ」が大切だそうです。学校生活で考えると「給食をしっかり食べる」「休み時間などに体を動かして遊ぶ」「友だちとたくさんおしゃべりをする」「新しいことに挑戦する」などがあります。また、家庭での「早寝・早起き」も関係があるようです。

10月は運動会、ランフェス（マラソン大会）や校外学習（バス遠足）等があります。これらの学校行事を通して、体を動かすことや友だちと話し合うこと、新しいものにふれる体験をたくさんしてほしいと考えています。ご家庭におかれましてもお子様が楽しく充実した毎日を過ごすことができるよう生活リズムづくりの配慮をお願いいたします。